

令和4年度



学校だより  
12月号

令和4年11月30日

# かわかみ

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX811-5961

## ～アスリートからのメッセージ～

学校長 堀部 尚久

まちの景色とともに、路面に広がる黄色や茶色の絨毯に、晩秋から初冬を感じる時季となりました。いよいよ明日から師走を迎え、何かと気ぜわしさも増してくることかと思えます。

昨日の授業参観には、どの学年もたくさんの保護者の皆様が来校され、子どもたちの学びの姿をご覧いただくことが叶いました。参観の枠組としては、上学年と下学年、参観人数の制限等を設け、不自由をお掛けしました。教科による学習内容の違いや、教室、特別教室、体育館といった学習環境の違いがあるものの、学級や学年集団としての学びの中で、子どもたち一人ひとりが、友達や先生とどのようなかわりを通して学んでいるのかという姿をご覧いただきました。ご家庭でも今回の授業参観のことを話題としながら、成長の様子について子どもたちにお伝えいただければ幸いです。

さて、12月4日(日)から10日(土)までの一週間は、昭和23年(1948年)国際連合で採択された世界人権宣言の趣旨に基づいて定められた「人権週間」です。この期間、全国各地で様々な視点から人権尊重を啓発する事業が行われます。「人権」とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらもつ権利」であるとされています。

本校でも、11月28日(月)から12月9日(金)までを川上小学校の人権週間と設定し、この機会に、人権に関する講話や人権に視点を当てた諸活動を通して、子どもたちの人権意識を高めます。子どもたちには、「いのちを大切にすること」「みんなと仲よくすること」を基盤として、人権は、誰にとっても身近で大切なもの、日々の思いやりの心によってお互いに守られていくものということ、しっかりと教えていきたいと考えます。同時に、私たち教職員においても、自らの人権意識を再確認する機会ととらえ、相互啓発に努めます。

本年度の本校での具体的な取組として、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」のローグンを掲げ、実現に迫るための「学級の取組めあて」をつくり、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校にするためにはどうしたらよいかということ、代表委員会で話し合い、自分たちの生活意識を高めていく活動を設けました。

とりわけ本年度は、特別な取組として、昨日4年生以上を対象に、パラリンピアンとして活躍されてきた円尾敦子(まるお あつこ)選手をお招きしてご講演をいただきました。パラリンピックの魅力を伺うことを通して、スポーツの楽しさや素晴らしさ、夢をもって努力することの大切さ、そして、誰もが障がいの有無にかかわらず自分らしく生きる社会の実現に向けた生き方や考え方を伺いました。円尾選手は、左目が義眼であり、右目もほぼ視力がない視覚障がいのパラトライアスロン(スイム・バイク・ランの三種目)のアスリートです。小学生の頃から運動は大の苦手であり、将来は医師や研究者になりたいという思いをもって大学院の研究助手をされていた時期に、ある時、「パラリンピックに出場したい」という思いに駆られたそうです。そして、苦しい練習を始め、その苦しさを乗り越えて、リオ2016パラリンピック、東京2020パラリンピックに出場され、好成績を残し、2021年のアジアパラトライアスロン選手権では女子1位となり、現在世界ランキング7位というアスリートです。子どもたちは、円尾選手の生い立ちや成長の様子、トライアスロンというスポーツの醍醐味、障がいの者のガイド(誘導)のポイントなど、丸尾選手から語られる話真剣に耳を傾けていました。お話の中で、パラリンピックへの挑戦で大切にしてきたことが三つあることを伺いました。「夢は人に話すこと」「周りの人に力を借りること」「練習をするときには、(誰かに)宣言すること」だそうです。夢や目標を誰かに伝えて話しておくとともに、自分が頑張るといふ決意をもつことが大事だというお考えです。お話の途中にもそうしたお考えに繋がる、心に響く言葉をたくさん届けていただきました。「(伴走者と)一緒に迎えるゴールは幸せ」「夢をあきらめない」「次々と夢をつくり追いかけていくこと」・・・ご講演をいただいたあと、「夢を追い続けてください!」という熱い思いが込められたメッセージを直筆で書かれた色紙のプレゼントをいただきました。円尾選手のご講演が、上学年の子どもたちにどのように受け止められ、これからの自分づくりに活かされていくかが楽しみでもあります。

こうした取組のほかにも、低学年では、友達のよいところさがしカードを作成し、「ほめことばのプレゼント」を実施します。3年生では「車いす体験」、4年生では「点字教室」を教育課程の中に位置付けて人権意識の啓発、高揚に繋がる心の育成に努めます。

このようなことを念頭に置き、子どもたちの「豊かな心づくり」を考え、保護者・地域の皆様と一体となって指導していきたいと思えます。

寒さも増しますが、子どもたちの体調管理をよろしく願いいたします。

